

# めだかの学校だより

平成 13 年 11 月 15 日  
第 34 号  
学舎：いなさ自然休養村  
くつきくさ  
事務局：引佐郡引佐町  
東久留女木 472-111  
TEL053-545-0381

## 校長訓話

第三十四回校長 寺田 悦子

「全く今年の夏は暑いなあ！」などと言っている内に秋になり、そしてまもなく年の暮れです。今年はいくらも以上1年の経つのが早く感じられます。と申しますのも、丁度1年前の10月12日に、32年振りに故郷にUターンして来たからに違いありません。会社に在籍のままでしたが、特別休暇と言う形で第2の人生の準備に入りました。普通ならば、結婚した時に第2の人生が始まるのでしようが、ちょっと外れてしまった私は、その時が新しい人生のスタートでした。山のような(？)送別会で決まって言われたのは「何故辞めるんですか？もったいない！」と言う事でした。確かに傍から見れば、JLの国際線グラウンド・ホステスの仕事は素敵だったでしょう。しかしやはり仕事となると厳しい事もたくさんありました。勤め人は誰でもそうでしょうが、自分の好きな職場ばかり歩いていく訳ではありません。当たり前ですが、私には苦情処理係を合わせて10年間勤めました。幾ら仕事と割り切っているつもりでも、ストレスが多かったです。元々胃腸が丈夫ではありませんでしたので、益々不調をうってやめました。此れではないいけない、体を動かして良い汗をかかなければと、合気道を始めたのです。それが結果として自分の人生を決める事にな

ったのは、今思えば運命としか言えません。

さてUターンして1週間もしない内に、母から「静岡新聞から電話があったよ。」との伝言がありました。早速電話を返した所、静岡新聞の一部門であるSBS学苑の高橋さんからでした。何と彼は同じめだかの生徒で、私が会社を早期退職して故郷にもどつてくることを聞き、講師をしないかというお話だったので。高橋さんとしては私の職歴から「日本航空の接客」とか「海外旅行で役立つ英会話」とかを考えておられた様ですが、あにはからんや「合気道を教えたいのです。が・・・。」と言つてかなり吃驚させたと思っております。そして私にとってラッキーだったのはSBS学苑が、それに答えられるように、立派な道場を使用できる環境にあった事でした。初めて行ったその場で翌年4月からの講座を持つ事が決定しました。やっぱりこれは、めだかの学校のお陰だとしみじみ感じております。私の在籍年数は長かったのですが、なにしろ遠方通学の上、仕事が不規則で必ずしも週末が休日でなかった為、欠席の多い生徒でした。それにも関わらず除籍されなかったのは、有言無言の皆様の暖かい応援があったからだと思っております。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

さてここで私が生涯の目標と定めた合気道について一言申し上げたいと思えます。合気道は、明治16年生まれの植芝

盛平開祖が始められた日本の武道です。開祖が亡くなられたのは昭和44年です。合気道がいかに新しい武道だということがお判りになると思えます。柔道や剣道などの他の武道との大きな違いは、競技形式を取らないと言う事、つまり勝ち負けではないと言う点です。あくまでも、自分自身の鍛錬なのです。その意味で究極の武道とも言われます。開祖の弟子には柔道や剣道を極めた有名な方たちも沢山おられます。皆さん、初めて開祖の合気道を見たその場で開祖の弟子になったと言う有名な話が残つておられます。開祖が目指されたのはこの世から争いをなくし和の世界を築くことで、合気道の合は愛とも言えることが出来ます。宇宙のエネルギーである気を出る自分の一杯に満たして、相手との和を目指すのが合気道です。ちょっと難しいと思われるかも知れませんが、鍛錬を重ねる内に自然に理解できるはずですよ。

21世紀は知る時代ではなく感じる時代であると言われます。

宇宙のエネルギーである気を自分の体に取り入れ、宇宙の智慧と力を体一杯に感じて生きましよう！



## めだかの学校伝言板

——第34回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／寺田悦子  
教頭／杉山淳一  
用務員／耳塚信博  
給食係／徳増兼弘・市川祐一・伊藤英雄  
石野省三・川島安一・牧野久子  
大谷香代子・高木初美・藤野はつえ  
久米かよ子・渡辺三ツ子(チーフ)  
＜学舎＞静岡引佐郡引佐町奥山 1737-286  
いなさ自然休養村「くつきくさ」内  
TEL 053-543-0321 (開校日のみ)

開校日／平成13年12月7日(金) 6:20PMより  
受付／蜂須賀千賀子・藤田吉恭・島田尚子  
服部守孝(チーフ)

＜時間割＞・第一時限(30分)  
社会科「カミさんにたたかれて50歳からヨードン」  
原 邦司 先生  
・第二時限(40分)  
地理「内蒙古の草原から」  
横田 浩臣 先生  
・給食の時間  
芋料理を食べながら、ゆったり語ろうー

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

「地域の国際人フォーラムと朝鮮通信使再現行列」

めだかの動き。地域の国際人フォーラムと朝鮮通信使再現行列。10月27日、静岡朝日テレビ...

身近なところから「等」など。身終った後、会場の外に設けられたコリア...

「きやらばん」文化展

お祭り「きやらばん」民族歌舞団「ほうねん座」。12月9日(日)PM3:00より...

「ゆめまる」が、「峠の国盗り綱引」

10月27日(土)、28日(日)の二日間。10月27日(土)第3回「三速南信」と...

た。分科会では、当初8つの分科会に分か...

の。交流の締めくくりは、原邦司メダカ...

加の部と続き、ゆめまる、大いに凱歌を...

「棚田にメダカが一匹」

天竜市大栗安。阿多古川を挟んで観音...

山。の反対側、「くま水車の里」の近く...

の。この日も、稲刈りイベントが行われ...

どくしけ。蕎麦も、秋の収穫も、初め...

ようになつてきた。そして、今、各地で  
棚田復元の取り組みが始まっている。棚  
田を考へることは、環境や食料、地域や  
文化、場合によっては伝統や歴史を考え  
直すことでもある。そして、ボランティア  
活動によつて新しい出会いと交流も生  
まれていく。さあ忙しいメダカたちも  
たまにはふるさと棚田に出掛けて見ま  
しょう。(なんでもあり農園小作人の松)

## 各地のたより

### 秋のひととき人形劇を見においでよ!

第十三回いなさ人形劇まつりが、十一  
月二十三日、二十五日の三日間、引佐町  
井伊谷の多目的研修センターを主会場に  
開催される。

人形劇団ひとみ座(川崎)、人形劇団む  
すび座(名古屋)、糸あやつり劇団(む  
す(岡山)、影絵劇団かかし座(東京)、  
八王子の車人形(八王子)など県内外の  
二十のプロ劇団と、町内外のアマチュア  
人形劇団など総勢三十三劇団が競演する。  
人形劇は演じるのも楽しいが、見るの  
も楽しい。われらメダカ石野省三校長  
の子どもたち(田沢小)も出演する。野  
外広場ではなくさんのお店も出て賑やか  
です。めだかの生徒に会えるかも。

思えば十四年前、引佐町役場商工観光  
課長だった伊藤茂男メダカと、静岡新聞  
に勤めながら静岡県のアマチュア人形劇  
団を取り纏めていた榊原幸雄メダカとの  
一本の電話「バラさんはおいででしよ  
うか?」から始まりました。そして十  
三年、共に一線は後輩に譲っているが、  
この時期になると身も心もうずまます。  
どうぞお出かけください。

問い合わせは、引佐町役場企画商工観  
光課(〇五三三-五四二-一一三)へ。

### おしか未来づくりネット

ワークでは、地域づくりに関するホ  
ムページを開設  
事務局静岡県総務部地域振興室にある  
しずおか未来づくりネットワークでは、  
「しずおかまちづくり」ソフトステ  
ーションと銘打ってホームページを開設

しました。アドレスは、  
http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/si  
-06/です。  
登録情報は、①地域づくり人材情報②  
地域づくり団体情報③地域づくり支援事  
業情報④地域づくりイベント情報⑤地域  
づくり先進事例情報⑥ご意見・相談コー  
ナー⑦リンク集です。どうぞのぞいて見  
てください。「めだかの学校」も載ってい  
ます。

### 今年もまた11月中頃からサ トウキビの収穫が始まります

「よこすかし」も12月初旬に風紋館  
(TEL&FAX 0537-484375)にて発売開始  
予定です。さて、なんでもあり農園では  
毎年恒例の「サトウキビ刈り体験」を12  
月2日(日)に行います。参加費は3,000  
円(よこすかし1キロ付)パーベ  
キュー、手打ち蕎麦等の準備もしますが  
お弁当は持ってきてください。見込み  
のみ大歓迎です。申込みは  
はだしの小作人 sasanago.com また  
は松本、深谷小作人まで。 はだしの小作人

### 人ひとヒト...だより

〇三遠南信に情熱を燃やす松田不秋メダ  
カ。豊橋市の森田泰子メダカと豊橋・飯  
田・浜松の合同読書会を開く。11月8日  
に飯田市で開催の三遠南信行政・経済サ  
ミットで「コディネーター」に。本島慎一  
郎メダカは同サミットで「ゆめまる」の  
活動発表。  
〇まちづくり、地域おこしに興味を持つ  
全国県庁職員有志の集まり「Jネット」4  
7の熊本大会に参加した溝口久メダカ、  
多くの宝を仕入れてきた。隔年で視察・  
交流の全国大会を開く。2003年の4  
回大会は静岡県。大魔神がどんな企画を  
するか楽しみ。  
〇川島安一メダカ。世界お茶まつりを成  
功させて、静岡県のお茶振興に燃える。  
体力は鉄人レースで鍛えている。  
〇地球環境に主眼を置き、お茶づくりに  
励む市川祐一メダカ。こだわりの洪川茶  
の生産販売の鈴木計芳メダカ。売るほど

ないが自然農法で一茶のみの鈴木正士メ  
ダカ。113人とも美味しいこだわり茶を  
目指す。  
〇句坂玲子メダカはオランダへ薔薇の視  
察研修。初めてのこゆえ、どんなお土  
産を持ち帰るか楽しみ。  
〇深澤明男メダカ、渥美末メダカはみ  
かんの収穫に大忙し。ともに独特な農業  
技術と経営を行っている。  
〇羊と深き絆は俺だ!とばかりに伊藤英  
雄メダカ。シモン羊、紫羊、エビ羊と猫  
の手も借りたし、徳増兼弘メダカと渡辺  
三ツ子メダカがお手伝いなのか邪魔し  
か、応援?  
〇美濃加茂市の長谷川政夫メダカ。趣味  
以上のそばうちで魅せられて、ついには  
岐阜県でそばのお店を開店。  
〇佐野文子メダカ、11月から浜松市の  
中学校の英語講師に。朝から夕方まで中  
学生相手に奮闘。がんばれ!!  
〇寺田悦子メダカ、愛気道に燃えて。学  
苑講師と各地で道場開設。そのうち湖  
西に夢ある道場を!  
〇脱サラして地域コンサルトなどに  
がんばる佐藤和夫メダカと杉本弘メダカ  
ともにイベントも企画する。  
〇結婚相談所を雄踏町で始めた高森久枝  
メダカと藤田潤吉メダカ。「山下正さん  
耳塚信博さん、村松達雄さんを頼みま  
す。私も誰ですか?」

〇芸術の秋!芸術に季節はないわ。日々  
研鑽です。マクラメの鈴木真弓メダカと  
石筆器の耳塚信博メダカ。  
〇人形作家は野村徳子メダカと久米かよ  
子メダカ、ともにさすがと唸らせる人形  
たち。  
〇こちらは能面師の伊藤八右メダカ、消  
防士と二足のワラジをかく。  
〇長野県田中康夫知事、地域づくりの大  
会も開く。一番「天龍村の関京子さんは」  
国も県も表彰している。村も重い腰を上  
げ表彰へ、良かった良かった。  
〇山中恵美子メダカ実行委員長の「浜  
松環境フェア」に本田量子、高木初美、  
井上啓子、齊藤逸子の「ガラ紡」メダカ  
が出席参加。  
〇館山寺温泉の花乃井支配人の村木謙  
メダカと国民宿舎館山寺荘の岡本公子メ  
ダカ、忘新年会に向かってふんばり中。  
〇舞阪商工会の新物産づくりのコーチ役

上嶋裕志メダカ、岐阜県福岡町の早川裕  
康メダカと協力して、舞阪町の清酒「飲  
舞」を発表。  
〇つみくさ支配人の伊藤茂男メダカとサ  
ボテンランド「カクトロコ」の野末信子  
メダカが西部農林事務所主催のグリー  
ホリデイに協力参加。いろいろなイベン  
トを仕掛けて大賑わい。  
〇すみれの里の尾上美智子メダカ、スミ  
レへの愛に余念がない。春が待ち遠しい。  
〇久米久乃利メダカ、新店舗を構えてお  
酒の大村屋は意気軒昂。  
〇湖西おらんビッグの佐原剛メダカ、お  
いしいハム・ソーセージ作り。リンデン  
バウムのランチのハムステーキは好評。  
庭のハーブとびったり。  
〇行政マンで「車座の会」を主宰。地域  
を引っ張る中嶋豊メダカ。  
〇長野県高森町でリンゴ園をやっている  
橋都秀子メダカ、収穫とジューズ作りに  
大忙し。  
〇浜松市の園長会会長として幼児教育に  
情熱を傾ける八木正子メダカと先生の佐  
藤律子メダカ。  
〇細江町の子育て支援センター所長の夏  
目美江メダカ。  
〇保健婦として高齢者の健康づくりにが  
んばる山名れい子メダカ。  
〇天竜市の高齢者介護に尽力する清水瑛  
メダカ。  
〇富士市の地域おこしのリーダー佐野玲  
子メダカ、9月出席予定が即入院。お体  
の具合はいかが。  
〇浜北の万葉の森の充実に相談役として  
力を注ぐ渥美登良メダカ。病を同居さ  
せながら。  
〇その教え子服部守孝メダカ、コンサル  
タント会社の営業マンとして三河地方の  
地域づくりに。人脈作りに、行政に  
はめっぽう強い。  
〇警田市の前島克巳メダカ、自動車学校  
を退職して公民館の非常勤館長として地  
域の生涯学習に熱を込める。  
〇定年を控えて地域の教育にも思いをは  
せる柴田宏祐校長メダカ。「あい・らぶい  
なさ湖」のまとめ役をどうでしょう。  
もっともっとたくさんの人を伝えたい、  
でも紙面の都合で今回はこの辺で、ごめ  
んね。  
(バラメダカ)

☆紀州木の国龍神、真砂典明様で郵便が届く。もちろん下番号645-0417も必要。郵便も凄いが、知られてる名前も凄いの支「ウマ」づくりにも切れる。来年の干支のメダカサマ、一ついかがですか。試してみたら。

☆三遠南信情報誌「S」(アミ)。第四号ができました。お金もないけど、照井泰子メダカの思いとそれを支える仲間たちで発行を続けている。四号の特集は「えき」。昔な田駅、浜松駅、丹波島駅、二俣駅、飯田駅、どこかで見た顔。大谷香代さん?。定価五〇〇円。照井泰子が事務局へTELを。

◆メダカ春秋

二十一世紀の入口に当たる今年、徳川家康が関ヶ原の戦いで勝利し、事実上天下を掌握し、その翌年正月、江戸を中心とした五街道を整理した年から四〇〇年という記念年に当る。江戸日本橋を起点とし、京の三条大橋に通じる東海道は五十五宿、宿場ごとに「継ぎ送る」伝馬制度を原則としていたから、江戸から京に荷物を運ぶのには五十三回の継ぎ替えが行われたので、東海道五十三次と呼ばれた。静岡県内には二十二の宿駅が設置された。静岡県では、四〇〇周年を祝うために「東海道四〇〇年祭実行委員会」を設け、県内から三百八十ほどのお祭りイベントを募集し、各地で盛大な催し物が展開されている。私もそのイベントにノミネートし、静岡県内東海道二十二宿今昔物語と題した総天然色、三百七ページの冊子を出版した。手前味噌でいささか冷や汗も浮かぶが、これがなかなかの評判を呼んだらしく、地元新聞に掲載された。我が家の電話は、(本日の事だぜ)数日間パニックの状態。十日間で五百冊を売り上げたのだ。(本当なんだ)これぞまさに青天の霹靂、嬉しい悲鳴というやつだ。

◆事務局より

「ウワツ、熊?」。「先日の夕暮れ時、家の前の道路を猪の親子が歩いていました。その親の堂々たるも、子どもに生きることに厳しさを身をもって教えているように思いました。私といえは「親の背をみて子は育つ」とうそぶいて好き勝手なことをやっています。ホントこの親子をみて反省しきり。もっとも私の家にも猪はいません。「めだかの学校」にも猪突猛進なんちゃって。関京子さん、我が家の明美猪に対して大猪だつて、「めだかの学校」で明美さんと書いたら、「ハハハ」と良い声、なんと袋井の明美メダカさんも猪「マイツタねえ。エツ?私も猪?」来年のエトは「ウマ」よかったです。そんな思いで「めだかだより」を書いていたら、疲れがどこかへとんでいってしまうような嬉しげな葉書。

さて私が今回、この冊子を出版しようと思いついたのは、ちよつとだけでも世間の皆さんに「道」本来の意義を伝えて欲しいと思つたからである。「道」とは、本来、単にモノを運び、人が通過するためばかりが役割ではなかつた筈だ。そんなことを思い返してもうたかたかからである。江戸時代、日本は鎖国という状態にありながら、西欧の文化やモノが街道を通つたことにより、庶民は異国の文物に接する機会が持てた。こうしたことが、明治維新以降の早急な国際交流の中にも立たされたのにもかかわらず、日本は「近代化」への道を歩むことが出来たのだ。二十一世紀の入り口に立つた私たちは、今一度、道本来の役割を真剣に考え直してみるべき時ではないだろうか。(浜松市・小林佳弘)

さて、10月15日に特別号を発行する予定が遅れに遅れて11月2日になってしまふ、今回の34号も11月10日が中旬ごろになつてしまふました。そんなことから12月7日の学校はないもの、と勘違いするメダカ生もいました。12月7日「34回めだかの学校」はしっかりと授業です。時間も2時間にして10分間の延長です。一時限目は原邦司先生の「人間学」。二時限目は横田浩臣先生の「草地球」です。原先生は、本で家が壊れちゃうかのような本好き。それも人生哲学、経済学など堅本ばかり。どの本も赤線でびっしり。横田先生は農学博士で、草と話しができる。ぐらうへ行つたときの話、調査研究で内蒙古へ行つたときの話、調べる暇などありません。たつぷり授業で眠っている暇などありません。お芋料理をたつぷり食べながら、ゆっくり語り合おうと思つています。幼き頃のように自分勝手に純粋にオモイやタケを本音でしゃべりましょう。飲むほどに食べるほどに饒舌になつて議論百出。いいですねえ。2日後の9日には特別教室「元氣印」のほうねん座「お祭りきやらばん」。こちらは身体の底からワッショイワッショイです。巻は下向き加減。でもココで踏ん張つて、日本の伝統のお祭りのエネルギーをいただいたて、みんなで明るく元氣に2002年にいきましよう!

挑戦心! 寒い冬に向かいます。風邪などひきませぬよう、くれぐれもお身体にご自愛を! (事務局・榊原幸雄メダカ) ※追伸、パソコンもメールも携帯電話もできない事務局に、至急頼む! と事務局へ送られた、印字とメール送信にご協力をいただいた窪口久、本島慎一郎、石野省三、鈴木正士、原稿依頼とメール送信の小林佳弘、小嶋良之、鈴木武史さん。制作に悩まされるエヌビーネットの照井泰子さん、伊藤さんありがとう。感謝。 ■各地のたよりの掲載について 各地方でいろいろな催事があると思ひます。次回発行日は2月1日です。1月20日まで事務局へ「文」又は浜松市村楠町浜名湖国際頭脳センター315、エヌビーネット照井泰子あて Eメール: hdb@net.co.jp (TEL:053-484-4133) めだかの学校事務局 〒431-2531 静岡県引佐郡引佐町東久留木4721111-1 留女木 榊原幸雄 ※「つみくさ」は学舎のみです。すべての連絡・お問い合わせは「事務局」にお願いいたします。